

「元気でね」、「大きく育ってね」

笠松小四年生、稚アユを放流



アユを放流する児童たち

笠松小の四年生五十九人が五月二十一日、港町地内の木曾川で稚アユを放流しました。稚アユの放流は、毎年五月中旬に木曾川・長良川下流漁業協同組合が行っているもので、三年前から笠松小の児童も参加しています。

児童たちは、漁協のかたからバケツに分けられた体長八センチほどの稚アユを受け取ると、手で触れたりしながら「かわいい」と歓声をあげていました。その後、川岸に並んで一斉に稚アユを放流。元気に泳ぐアユをみて、「元気でね」、「大きく育ってね」と手を振る児童もいました。今回、放流したアユは約一万五千匹で、漁協のかたによるとほかにウナギやナマスも放流しているそうです。

力作がずらり

春季老人余枝作品展を開催



多くのかたが訪れた会場

町・町老人クラブ連合会共催の「春季老人余枝作品展」が五月二十九日から三十一日の三日間にわたり、福祉会館で開催されました。

会場には高齢者の自由時間を利用した書、絵画、写真をはじめちぎり絵や手作り人形などの作品二百点あまりが展示され、立派な作品を見に、期間中、大勢の人びとが訪れました。

労働から学ぼう

笠松中職場体験

笠松中二年生の生徒たちが五月二十一日と二十二日の二日間、製造業や小売業など三十五の事業所で「職場体験」を行いました。

これは働く体験を通して、その喜びや苦勞を味わい、労働の尊さを学びとり、将来の進路選択の参考にしてもらうと、同校が毎年実施しているものです。

町心身障害者小規模授産所

では、四人の生徒が入所者たちといっしょにペーパーブックの組み立て作業に取り組みました。

生徒たちは、「福祉関係の仕事に興味があったので、将来の参考になりました」、「二日間、ずっと同じ作業なので大変だけど、障害者のかたたちと仲良くなれてうれしかった」と感想を話していました。



入所者たちといっしょに作業する笠松中の生徒(中央)

岐阜県健康福祉祭を開催

平成十四年度健康福祉祭が五月二十八日、県メモリアルセンターで開催されました。

この大会は、健康増進と交流を高めることを目的に行われ、当日は、グラウンド・ゴルフ、ペタンク、フオークダンスなどの十三種目に、県下六十歳以上の男女愛好者、約三千人が一堂に集い、はつらつとした汗を流しました。

当町からは、グラウンド・ゴルフ、ペタンクなどの競技に百五十人が参加し、グラウンド・

ゴルフ競技では、参加者千八百十八人中、見事入賞しました。成績は次のとおりです。

当町関係分 (敬称略)

グラウンド・ゴルフ

メモリアルセンター芝広場

青会場 準優勝 浅野 良夫

白会場 準優勝 近藤 益夫

赤会場 三位 岸田 光慶

陸上競技場

黄会場 準優勝 堀江 良昌

白会場 準優勝 堀 ヨシエ

青会場 三位 太田 岩雄